

認定心理士資格の基礎条件

▼日本心理学会 認定心理士認定資格細則より

領域		認定単位数	備考
① 基礎科目	a 心理学概論	(1) a 領域は4単位以上、 b,c 領域の合計が8単位以上でそのうち c 領域が4単位以上となること	(1)と(2)を満たした 残り8単位は a~h の 任意の科目または i で 充当する
	b 心理学研究法		
	c 心理学実験・実習		
② 選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	(2) 5領域のうち3領域以上で、各領域で基本主題を含む4単位以上、合計16単位以上を満たしている事	
	e 生理心理学・比較心理学		
	f 教育心理学・発達心理学		
	g 臨床心理学・人格心理学		
	h 社会心理学・産業心理学		
③ その他の科目	i 心理学関連科目、 卒業論文・卒業研究	①と②の合計単位数が36単位以上の場合には必ずしも必要ではない	

- ・各領域とも2単位以上は「基本主題」に属する単位であること(残余の単位分は「副次主題」に属する単位でもよい)
- ・総単位数 **総計36単位以上**(「本学での単位数」ではなく、基本主題と副次主題の合計単位)
- ・心理学専攻4年次編入学の場合は、1年間**のみの履修**で上記の条件を全て満たすことが可能なのは「スタンダード心理学コース」のみです。

● 本学において日本心理学会に確認をとっている科目と単位

令和7年7月現在。資格取得要件は変更される場合があります。

領域	科目名	学修方法	本学での 単位数	基本主題	副次主題	備考
① 基礎科目						
a	心理学概論	T	4	4		
b	心理測定法	STR/TR	4	4		
c	心理学実験実習1	R	2	2		2014年度までの履修者は(初級)
	心理学実験実習2	SR	2	2		2014年度までの履修者は(中級) 履修年度によって学修方法等が異なる場合がありますが、いずれもこの領域です。
② 選択科目						
d	学習心理学	T	4	4		
	認知心理学	R	4	4		
e	生理心理学	T	4	4		
	脳とからだの心理学	R	2	2		
f	教育心理学	ST/T	4	4		
	発達心理学	T	4	4		
	心理教育評価 ※	ST	4	4		学修方法が(T)は g 領域
	臨床発達心理学 ※	TR	4	4		
	発達心理学1 ※	T	2	2		2020年度まで
	発達心理学2 ※	T	2	2		2020年度まで
g	臨床心理学	T	4	4		
	パーソナリティ心理学	T	4	4		2007年度までの履修者は人格心理学
	心理診断法 ※	R	4	4		
	カウンセリング論 ※	SR	4	4		
	心理療法 ※	T	4	4		
	心理教育評価 ※	T	4	4		学修方法が(ST)は f 領域
	精神医学 ※	T	2		1	
	行動療法 ※	ST/T	4	4		
	犯罪心理学 ※	SR/R	4		2	
	教育相談(カウンセリング含む)(小) ※	T	2		1	
	教育相談(カウンセリング含む)(中・高) ※	T	2	2		
	教育相談	T	2	2		
	学校カウンセリング ※	SR/R	4		2	
産業カウンセリング ※	S	2		1		
h	社会心理学	T	4	4		
	環境心理学 ※	T	4	4		
	産業・組織心理学 ※	SR/R	4	4		
	コミュニティ心理学	S	2	2		
③ その他の科目						
i	卒業研究	R	4	教員による		カリキュラムでは8単位ですが、申請できる単位数は4単位のみです。

※マークのついている科目については、2015年度以前に単位修得した場合、資格申請の要件に含まれませんのでご注意ください。